

モニタリング結果報告書

施設 相模湖漕艇場

指定管理者 特定非営利活動法人神奈川県ボート協会

施設所管課 スポーツ課

(平成 21 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月9日	11月26日	適正に行われていると認められる。
11月	12月10日	12月21日	適正に行われていると認められる。
12月	1月12日	1月20日	適正に行われていると認められる。
1月	2月8日	2月26日	適正に行われていると認められる。
2月	3月10日	3月26日	適正に行われていると認められる。
3月	4月6日	4月30日	適正に行われていると認められる。

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

艇庫保管艇の無料メンテナンスサービスの実施。

< 実施状況 >

10月：杏林大、北里大の艇の他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。

11月：艇庫に保管されている艇の修理等を実施した。

12月：艇庫に保管されている艇の修理等を実施した。

2月：艇庫に保管されている艇の修理等を実施した。

3月：北里大の艇の他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月 料金額)	その他収入		
年間予算額	21,604	19,823	1,781	21,604	0
上半期計 (a)	11,472	10,388	1,084 (-)	8,841	2,631
下半期計 (b)	10,371	9,435	936 (-)	12,614	△2,243
10月	1,713	1,497	216 (-)	1,753	△40
11月	1,798	1,767	31 (-)	1,466	332
12月	1,467	1,447	20 (-)	1,502	△35
1月	1,514	1,437	77 (-)	1,557	△43
2月	1,544	1,503	41 (-)	1,676	△132
3月	2,335	1,784	551 (-)	4,660	△2,325
合計 (a+b)	21,847	19,823	2,024	21,455	392

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

下半期は、シーズンオフとなり利用人数が減少するのに伴い、利用料金も減少すること、また、シーズンオフを活用し次シーズンに向けた設備・備品の修繕等を実施したことにより収支状況は支出が多いが、年間を通じた収支でバランスがとれているので特に問題はない。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	13,275 人	8,852 人	50.0%
下半期計 (b)	4,785 人	6,141 人	△22.1%
10 月	2,094 人	2,689 人	△22.1%
11 月	563 人	1,623 人	△65.3%
12 月	254 人	162 人	56.8%
1 月	94 人	165 人	△43.0%
2 月	39 人	116 人	△66.4%
3 月	1,741 人	1,386 人	25.6%
合計 (a+b)	18,060 人	14,993 人	20.5%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

11 月、昨年度は大きな大会があった。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10 月	0	0	0	0	0	0
11 月	0	0	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0	0	0
1 月	0	0	0	0	0	0
2 月	0	0	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10 月	0	0	0
11 月	0	0	0
12 月	0	0	0
1 月	0	0	0
2 月	0	0	0
3 月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

特になし。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

特になし。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

特になし。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>4月から指定管理を受け、一年間管理をしてきたが、この間事故も無く、またトラブルもなかった。</p> <p>利用者の立場に立った対応ができていたからと思っている。</p> <p>下半期はシーズンオフに入り、朝晩の冷え込みが厳しく水温が低下したため、目の届く範囲での利用を利用者に対して注意を喚起すると共に、転覆等に迅速に対応できるよう定期的に湖を巡回した。</p>
施設所管課	<p>全体として適切な管理が行われていると考える。</p> <p>オフシーズンとなり利用者が少ない下半期（特に冬場）は利用者数、収入額が昨年度同期と比較し減少した。</p> <p>ただし、下半期については、次年度に向けた艇のメンテナンスを重点的に実施する時期として位置付けており、年間を通してみれば、利用者数、収入額は増加しており、結果として指定管理者の努力の成果が表れているため特段の問題は見受けられない。</p> <p>次年度は、下半期も利用者が増加する工夫や取組みを期待したい。</p>